



燃焼排ガスの室内への吸引を避けるため、開口部が排気口と同じ壁面にある場合は、側方・下方に150mm、上方に300mm以上、また直角の壁面にある場合は600mm以上開口部から距離をとること。

ガス給気機の排気筒は原則ステンレスとすること。
ただし、アルミの排気筒を使用する場合は、最大延長2m以下2曲りで排気すること。それ以外は、口径100のステンレス排気筒で、1.0m以下4曲りで排気すること。
(圧縮鉄管は使用不可)

火気使用換気計画
使用ガス 都市ガス K: 0.93m³/kWh (理論換気量)
Q: 9.90kw (燃料消費量: 3口コンロ)
V=30KG
=30x0.93m³/kWh x 9.90kw
=277m³/H以上とする。(レンジフード)
<注意事項>
防炎設備のレンジフードから100mm未満は全て燃焼済の無い不燃材とし、吊り戸棚については、国土交通大臣の approval を受けた吊り戸棚製品を使用すること。また、認定品以外の吊り戸棚を使用して、接続する部分を不燃仕上げする場合は、消防団と調整を行うこと。また、排気ダクトは可とう管も含めアルミは認めない。ステンレス鋼管は亜鉛めっきとし、可燃物から100mm以上の距離を確保することが出来ない場合は、保護材(厚さ50mm以上)で被覆すること。
※別室戸については、H=10mm以上のアンダーカットとする。
※ガスコンロ火源等から排気フードの下端までの高さは1m以下とする事。

※他室への通気口、換気口等を共用部分に設ける場合は、150mm以上の場合は、防火ダンパー(FD)付を設置する事。
※貫通する配管は、銅管及び銅製管または日本消防設備安全センターの性能評価(施工方法も含む)を受けた物品を使用し、評定どおりの施工をする事。
クーラー配管及び室外機も直下間に設ける場合は、ベランダ側に設ける場合も隣戸との開口部の距離が900mm以内に設けた場合は、防火処置(防火キット等)の取付に準じる事。

Aタイプ空調・換気設備平面図

A-1 S=1/30
A-3 S=1/60

一級建築士 大塚 第309621号
設備設計一級建築士 交付番号1688号
松永 知 敬

有限会社 アクト建築計画室 宜野湾事務所
沖縄県那覇市1-2-2 (2F)
1階電話: 098-951-3711
2階電話: 098-951-3712
管理棟: 山崎 達也 TEL: 098-951-3711

コード番号	工事名称	図名	縮尺
承認 換印 製図	(仮称) レーフ古波築断工	Aタイプ空調・換気設備平面図	S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)
	図面番号	M-32	